

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	比較言語論		
英文授業科目名	Advanced reading in Academic reading		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 美弥子		
居室	東1-615		

公開E-Mail	授業関連Webページ
satoh@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>最終的には英語で論文が書けるよう、論理的な文章を書く訓練を積む。</p> <p>論理的な文章を書くには、単純明快な文を、有機的に繋げて、論を組み立てればよい。そのためには、無駄を省き、単刀直入に問題の核心に切り込まなければならない。</p> <p>授業では、MITの学生も座右の書としている（正確には、座右の書とさせられている）The Elements of Style (William Strunk, Jr. 著) や『英語で科学を書こう』（井口道生 著）を参考に、実際に文・文章を書いて貰い、皆で推敲する。よい文章を書くには、よい文章を手本にすることが必要なので、具体例として示す良文を分析して貰う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
一年次英語、二年次英語

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
英語演習、佐藤（美）担当一・二年次英語科目、

【教科書等】
プリント等 配布

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

[主題および達成目標]参照

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席（欠席回数が総授業回数の三分の一を越えると失格）、授業中の活動、提出物を成績評価の対象とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業終了後が不都合な場合は、教員と学生双方に都合のいい日時。

【学生へのメッセージ】

書くことは考えることに他ならない。考え抜く覚悟のある学生の受講を期待する。

【その他】